カナダ語学研修
2016年度 報告書

「正しい国際感覚」と「人格形成」

～見て、聞いて、感じて思う～

横浜創英中学校

カナダ語学研修

～現地校授業体験とホームステイで踏み込んだ異文化理解～

横浜創英中学校では、2003年開校以来中学３年時に生徒全員が参加する「カナダ語学研修」を実施しています。初めの10年は、ブリティッシュコロンビア州バンクーバー市郊外（バンクーバー島）のナナイモ・レディスミス地区で11日間行ってきました。2013年度より東部オンタリオ州トロント市郊外ムスコカ地域のスモールタウン、ブレイスブリッジで行っています。

生徒はホームステイしながら現地の学校に通い、バディ（1人ひとりに世話役の現地生徒がつきます）と一緒に授業に参加します。午後は様々なアクティビティが用意され、現地の生徒とのスポーツ交流会・文化交流会など充実した日々を過ごします。週末はステイ先のファミリーと郊外に出かけてカナダの雄大な大自然を満喫したり、近郊の町のフェスティバルにファミリーと一緒に出かけたりして、実際のカナダでの生活を体験します。まさに横浜創英中学校の生徒でしか経験することの出来ない魅力溢れる「体験学習プログラム」です。

なぜCANADA？

安全・安心

海外研修の訪問先を考える際、安全・安心がまず第一と考えます。カナダは国連で世界一住みやすい国として選ばれたことからお分かりのように、世界でもまれにみる治安のよい国です。アメリカとは違い銃刀類・麻薬の保持、酒類の販売・飲料場所に関する規制が厳しく、日常生活の中で危険性を感じることはほとんどない国です。

カナディアン・ホスピタリティ

カナダの人々は、とにかくみんなフレンドリーです。町を歩いていると、見知らぬ外国人にさえ「こんにちは！」と挨拶してくれます。ステイ先のファミリーも家族同様のもてなしで迎えてくれます。生徒たちにとって素朴で親切・飾らない人柄のカナダの人々との出会いは、一生忘れることのできない素晴らしい思い出になります。

クリーンで医療も充実

豊富な水資源を大切に守っているカナダでは、水道水も安心して飲むことができます。また医療は世界最高の水準を誇っており、万が一の怪我や緊急の病気でも適切な治療を受けることが可能です。

グローバルな文化体験

「モザイク国家」とも呼ばれる多民族国家のカナダでは、各民族の文化や各州の独自性が尊重・保護されています。生徒は日本と異なる生活様式や文化の多様性を学ぶことが出来ます。カナダでの研修体験は帰国後の生徒の成長の大きな糧になります。

広大な自然を満喫

自然を大切に守り、人間と自然が調和して生活していることがカナダ人の誇りです。スケールの大きい平原・山岳地帯・森林・河川などが織りなすカナダの景観から、日本では見ることの出来ない雄大な大自然の素晴らしさを肌で感じ取ることができます。その代表であるナイアガラの滝は「すごい！」の一言です。

MLI（Muskoka Language International）とは？

現地でお世話になる、英語研修プログラムです。MLIのスタッフは元学校関係者、教育委員会役員、校長等から構成され、教育に関して深い理解があり1995年設立以来カナダでは外国人向けの語学研修の専門家集団として高い評価を受けています。特にMLIの提供する英語研修は、現地中学・高校との独自のネットワークを活かし、現地学校の授業に参加するプログラムを提供できることが最大の特色になっています。

本校では2005年よりMLIとJTBを通じて委託契約し、語学研修並びにホームステイを実施してきました。現地でのアクティビティ、文化交流会をはじめ研修プログラムの詳細については本校の意向を十分に伝え、その意向に沿ったプログラムを実施させて頂いており、大変満足しています。社長も過去３度ほど本校に訪問し、プログラムの改善点等をお互いに話し合うなど緊密な関係を保っております。

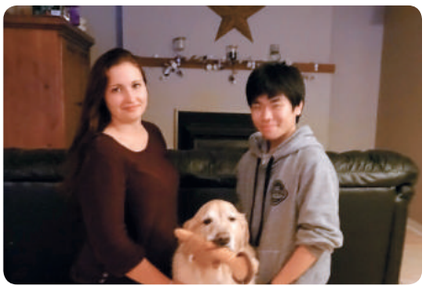
本校の研修は、現地校授業参加型となっていることが特色となっています。

また、2015年度より、全員がひとり１家庭でのホームステイとなり、さらに充実した体験が得られるようになりました。2016年度の研修は、10月10日（祝・月）から10月20日（木）までの11日間で実施しました。

スモールタウンプログラム

スモールタウンプログラムとは人口5,000～100,000人規模の町、平均25,000人の小さな町で研修プログラムが実施されることを意味します。スモールタウンの持つ心のこもったおもてなし、安全性、可愛らしさなど、満足度の高い研修が受けられます。また生徒たちは素朴で飾らない田舎町のホームステイを通してカナディアンホスピタリィテイを感じとり、同時にカナダの日常生活を肌で感じながら文化の多様性を理解し、精神を豊かにする研修プログラムです。

生徒感想



K.Y さん　「自分から心を開く」これは、カナダ語学研修で学んだことの一つです。僕は自分から心を開くということが苦手です。初対面の人に対して、うまく会話ができず、自分が悪いにもかかわらず「この人は面白くない」と勝手に決め付けてしまうことがよくあります。

今回の語学研修でもそうでした。最初にホストファミリーと会った時、聞き慣れない流暢な英語と不安や緊張から上手くコミュニケーションをとることができず、「ホームステイは楽しくない」と決め付け、すぐにでも帰りたいと思っていました。その時、冒頭の言葉を先生から掛けてもらいました。その言葉を信じ、僕は自分から心を開き、積極的にホストファミリーと話してみました。すると、「楽しくない」と思っていたホームステイがどんどん「楽しい」ものに変わっていきました。心を開くことで、ホストファミリーとの会話から得られるものも多くありました。それは、格好良くきっちりと文法に当てはめて話さなくても、自分の拙い英単語を並べて話すだけで、自分の言いたいことは伝わるということです。このことを得てから、僕は安心してファミリーと話をすることができるようになったと思います。

また、自分から進んでファミリーとコミュニケーションをとるように心掛けることで、ファミリーも僕のことについて色々と知りたいと思ってくれるようになるということも感じました。日を追うごとに毎日の生活が楽しくなったことで、もっと長くホームステイをしたいという気持ちに変わりました。

今回の経験を通して、何事に対しても自ら心を開き挑戦することで、自分の視野は大きく広がるということを知りました。また、少しの勇気を振り絞るだけで、自分の気持ちや考え方を変えることができる自信も付きました。さらに、自らの成長も強く実感しています。この貴重な体験を通して学んだことをこれからの将来に活かしていきたいです。

最後に素晴らしい体験をさせてくれた両親に一言「ありがとう！」。

S.F さん　カナダ語学研修で学んだことは「気持ちが大切だ」ということです。それは、英語を話すことがあまり得意でない私でも「話したい」という気持ちがあれば、相手の人も理解しようとしてくれたからです。

私のホストファミリーはとても優しい人達で、心から私を歓迎してくれました。分からない英語があった時、簡単な単語に変えて分かりやすく表現をしたり、物を使って説明をしてくれました。また、私が緊張して戸惑っていた時も「どうしたの？」と話し掛けてくれることが多くありました。そのお陰で自分からファミリーに話しかけやすくなったのを覚えています。

たくさんの人と会話をするうちに、話すことが楽しいと改めて思い、「話したい」という気持ちが強くなりました。自分から積極的に行動すれば、気持ちや思いは国境を越えて伝わるんだなとすごく感じました。

私がこの研修で一番心掛けていたことは「自分で楽しくする」ということでした。初めての事ばかりで、緊張して固まってしまうことも最初はありましたが、そこで何もしないのではなく積極的に楽しくする努力をしました。すると、カナダの人達も一緒になって楽しんでくれました。自ら楽しく過ごせるように心がけることは、とても大切なことだということも学んだように思います。

さらに、10日間も両親と離れて生活をしたことで、いつも私を支え、陰ながら応援してくれる両親の優しさやありがたさを改めて実感することができました。語学研修や異文化交流を経験できたことはもちろん、家族の大切さも感じることができて本当に良かったです。

私はカナダでたくさんの人と出会い、人の温かさを感じました。ホストファミリー、学校の先生、バディーそしてカナダに行かせてくれた私の家族に感謝の気持ちを伝えたいです。このカナダで過ごした10日間は私にとって「一生の宝物」になりました。

全ての人にお礼を言いたいです「本当に本当にありがとう」と。

カナダ紹介

カナダは正式名称をカナダ連邦といいます。10の州と3つの準州によって構成されています。北アメリカ大陸の約3分の1を占めるその国土面積は、9,976,140平方キロメートルで、ロシアに次いで世界第2位です。しかし広大な国土の割に人口は少なく、総人口3、300万人の9割はアメリカとの国境500キロメートル以内に、また5割はトロント、オタワ、モントリオールなどの東部に集中して生活しています。また日本のおよそ27倍と、国土が大変広いため国内だけで最高5.5時間の時差があり、太平洋から大西洋まで6つの時間帯に分けられています。カナダは1867年に建国されたばかりの国なので、国としての歴史は約140年ほどしかなく、その意味ではまだまだ新しく成長を続けている国といえるでしょう。カナダの象徴であるメープルリーフの国旗も1965年に作られたばかりです。イギリスやフランスの伝統的文化の影響を強く受けていることもカナダの特徴のひとつで、公用語が英語とフランス語の2つに定められているのもその現れといえます。多民族の国として有名なカナダですが、これは1969年以来、政府が移住者を保護する政策をとってきたためで、現在国民の6分の1は近年移住してきた人々です。

気候も太平洋側は温暖、北極に近い北部は寒冷、中央部は大陸性気候、そして東部は温暖な気候とさまざまなものになっています。
横浜創英中学校では、2013年度より、東部オンタリオ州トロント市郊外ムスコカ地域のスモールタウン、ブレイスブリッジにてカナダ語学研修を実施しています。

現地校

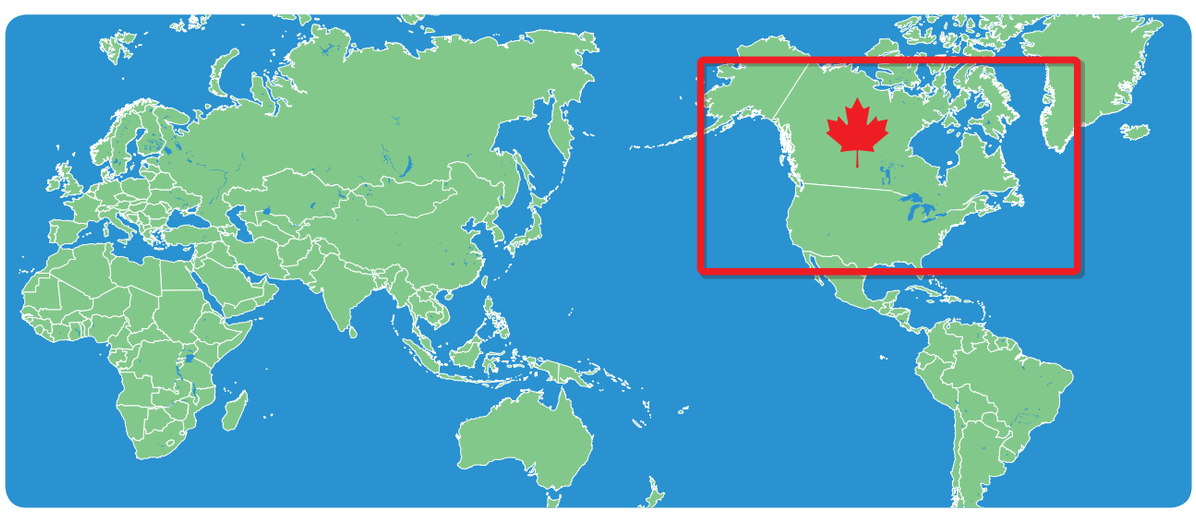
BRACEBRIDGE & MUSKOKA LAKES SECONDARY SCHOOL (BMLSS)

100 Clearbrook Trail Bracebridge,Ontario,Canada P1L2E9

校舎の外観

校舎内の様子

BRACEBRIDGE



感動の11日間（ミニ留学体験）

現地校交流型プログラム

行程紹介

1日目

羽田空港集合

ナイアガラ見学

空路にてトロントへ

2日目

ホストファミリーと対面、ホームステイ開始

3日目

英語研修

コミュニティオリエンテーション

4日目

カーリング体験

英語研修

現地授業参加

5日目

ファーストネーション訪問

6日目・7日目

休日はホストファミリーと！

8日目

日本文化交流

バディと一緒に昼食

9日目

スポーツ交流

フェアウェルパーティー

10日目

ホストファミリーとお別れ

11日目

帰国